

報道関係者各位

再生可能エネルギー導入促進に向け ウェブサイト「エコ電力特集」オープン

2018年6月5日
グリーン購入ネットワーク

グリーン購入ネットワーク（事務局：東京都中央区 会長：平尾雅彦、以下 GPN）は、このたび、再生可能エネルギーの導入促進を目的に、「エコ電力特集」ウェブサイトを開きました。再生可能エネルギーの導入方法や取り組みを対外的にアピールする方法を示すとともに、環境に配慮した電力プランを採用している企業や行政の具体的な事例を数多くご紹介するなど、企業・行政をはじめ、一般の方にも有用でわかりやすい情報発信を目指しています。

● GPN「エコ電力特集」ウェブサイトのコンテンツ

URL : http://www.gpn.jp/project/eco_denryoku/

■ エコ電力の導入手順

ステップ 1 エコ電力を導入する

- ・グリーン電力証書の利用
- ・エコな電力プランの選択
- ・自前の電力設備の保有

ステップ 2 外部にアピールする

- ・国際イニシアチブ等への参加
- ・自主的な宣言、ほか



■ グリーン電力導入事例

CASE1 グリーン電力証書の事例

CASE2 国際イニシアチブ「RE100」に
参加する GPN 会員



■製品・サービスの環境情報データベース「エコ商品ねっと」に掲載されたプランへの切り替え事例

購入事業者	活動事業種	所在地
三菱電機	工業用施設・事務	愛知県名古屋
株式会社リサーチジャパン	店舗	神奈川県厚木市
株式会社ポルカドイン	ザ・ノースフェイス店舗	富山県小矢部市
スズキ精工株式会社	店舗・工場	東京都目黒区
アスクル株式会社	販売センター <small>★2018年4月より店舗向け</small> <small>★2018年4月より店舗向け、販売センター</small> <small>★2018年7月よりKAGOSHI, Logi PARK 向け</small>	東京都中央区

■グリーン電力証書の活用についての解説

●再生可能エネルギーの導入の背景

従来、再生可能エネルギーの導入は主に発電事業者サイドの取り組みと捉えられてきましたが、コストの低減も図られつつある中で、近年は電力を使う主体が「電力供給会社から買うのか、それとも自ら発電するのか」といった調達方法やコスト、災害発生時への備え、温暖化防止などさまざまな観点を考慮してベストな電力を選択する、という流れへと移行してきています。

企業や行政では、環境の側面を重視して電力プランを選択する事例が着実に増えてきています。再生可能エネルギー100%使用を目指す企業が加盟する国際イニシアチブ「RE100」に参加し、長期的に再生可能エネルギー100%に取り組む企業は、リコー、積水ハウス、アスクル、大和ハウス工業、ワタミ、イオンの6社になりました（2018年3月末時点）。

●GPNのエコ電力に関する活動 — 「電力のグリーン契約ガイドライン」と「エコ商品ねっと」

GPNでは、主要な活動のひとつとして、製品やサービスを購入する際に環境面で考慮すべき事項を示したガイドラインの整備を進めており、2018年3月に「電力のグリーン契約ガイドライン」を策定しました。本ガイドラインでは、再生可能エネルギーの割合やCO₂排出係数など、環境配慮型の電力プランに求められる要件を明確化しました。また、実際に消費者が環境の視点から電力プランを選択できるよう、GPNが運営する製品・サービスの環境情報データベース「エコ商品ねっと」を通じて、電力プランの環境情報の提供を行っていきます。

グリーン購入ネットワーク (GPN)

グリーン購入（環境に配慮した製品・サービスの購入）を促進することを目的に1996年2月に設立された、企業・行政・民間団体などによる緩やかなネットワーク組織です。グリーン購入の普及啓発活動や、商品分野ごとの購入ガイドラインの策定、商品の環境情報を掲載したデータベースの運営などを行っています。2018年3月22日時点の会員数は合計1,452団体（企業1,200、行政120、民間団体132）です。

ホームページ：<http://www.gpn.jp/>

<本件に関するお問い合わせ>

グリーン購入ネットワーク (GPN) 事務局 担当：金子・深津

TEL.03-5642-2030 FAX.03-5642-2077 Web：<http://www.gpn.jp/> Email：gpn@gpn.jp

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9階